

## 群馬県の現状

人口減少・高齢化社会が進展する中、労働者の減少を上回る生産性の向上を図るとともに、「人・モノ・情報」を呼び込み、新たな需要を創出することにより、本県の持続的な経済成長を実現することが求められています。

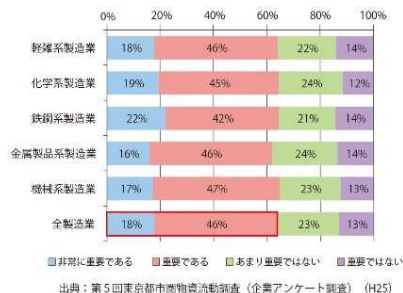
将来にわたって持続的に成長を続けていくには、高速道路や工業団地へのアクセス強化や交通渋滞の緩和などの対策が必要となっております。

## 県民の声

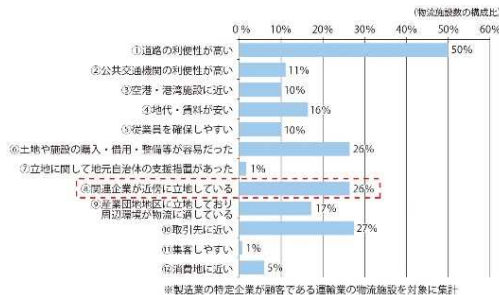
「効果的な物流拠点の整備と物流ネットワークの形成」が求められている。

○製造業の物流を担う物流業者は、ジャストインタイム等、時刻指定への対応を重視しており、取引先工場の周辺への立地を希望するニーズが高まっています。

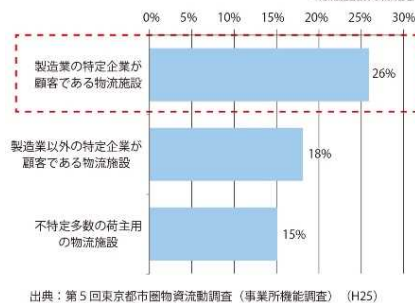
「ジャストインタイム等、時刻指定への対応」を重視する製造業の企業割合



製造業に関わる物流を行う物流施設の立地場所の選定理由



「関連企業が近傍に立地している」ことを理由に現在の立地場所を選定した物流施設の割合



## 課題

交通の円滑化を図り、経済活動を支援する道路整備を推進する必要があります。

## 目的

インターチェンジや、高規格道路・直轄国道等の幹線道路から、産業団地等へのアクセスを向上させる道路整備を行い、産業の競争力や成長力を高めます。

## 事業の指標

交通拠点からアクセス機能が向上する  
産業団地等の箇所数

## 指標

Σ（交通拠点からアクセス機能が向上する  
産業団地等の箇所数）（単位：箇所）

## 成果と達成度報告

交通に便利な産業団地等が  
36箇所増えました！

指標：交通拠点からアクセス機能が向上する産業団地等の箇所数

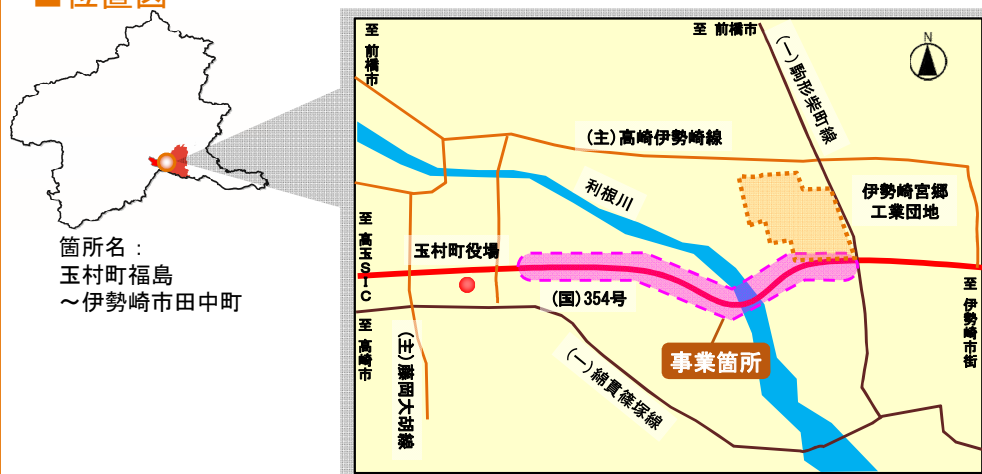
|           | 目標   | 実績   | 増減             |
|-----------|------|------|----------------|
| 当初値（H25）  |      |      |                |
| 中間値（H27末） | 11箇所 | 6箇所  | 6箇所のアクセス機能が向上  |
| 目標値（H29末） | 36箇所 | 36箇所 | 36箇所のアクセス機能が向上 |

# 高速道路・国道網・鉄道と周辺幹線道路のアクセス強化による 地域産業の振興に資する成長基盤の強化

## 整備効果事例

### 事例① 国道354号（玉村伊勢崎工区）

#### 位置図



箇所名：  
玉村町福島  
～伊勢崎市田中町

#### 整備効果

整備前



利根川渡河部では、代替路がないため  
毎日出勤時間帯には渋滞が発生！

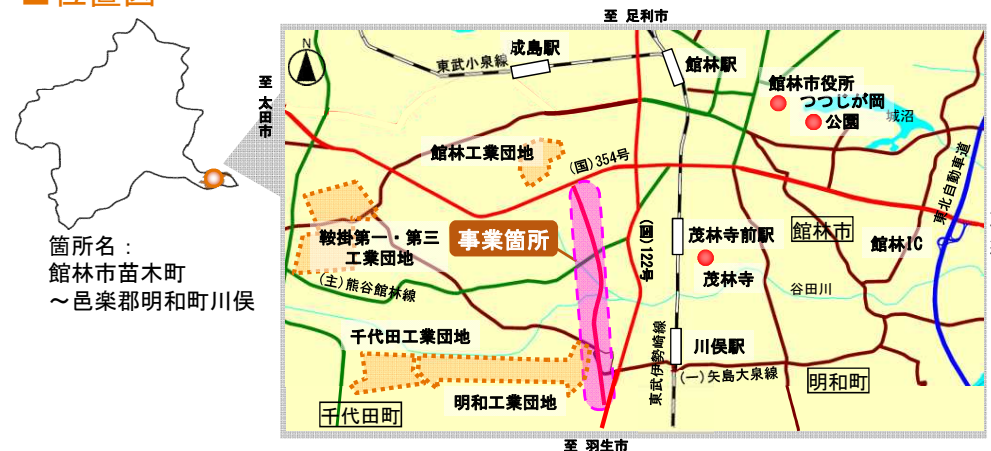
整備後



4車線の新設橋を整備したことで、円滑な交通空間を確保！

### 事例② 国道122号（館林明和工区）

#### 位置図



箇所名：  
館林市苗木町  
～邑楽郡明和町川俣

#### 整備効果

整備前



国道122号の群馬・埼玉県境付近では  
慢性的な渋滞が発生！

整備後



4車線のバイパス整備により、円滑な交通空間を確保し、現道の渋滞も解消！